

# 難民食料支援 学び語り合う会③ ご案内

難民食料支援として日本にいる私たちができることを考え語り合う場、第3回を開催します。今回はミャンマーについて学び、難民食料支援について語り合しましょう。



主催団体： NPO 法人 地域と協同の研究センター  
アジア・ボランティア・ネットワーク 東海  
NPO 法人 名古屋難民支援室  
協力団体： 生活協同組合 コープあいち  
助成： かめのり財団

**1月15日（土） 10時～12時**

食料支援  
第5弾 開催

## 第一部 学び：ミャンマーで起きていること

ミャンマー出身のアウンココウーさんにお話をうかがいます。

ミャンマーで民主化運動に取り組んだアウンココウーさんは、難民認定はされず人道的配慮による在留特別許可を与えられて、日本に約30年暮らしておられます。この間のさまざまな経験や思いをお聞きます。聞き手は、NPO 法人名古屋難民支援室の羽田野真帆です。

ミャンマーでは、2021年2月クーデターが起きました。この結果、軍出身のミンス工第一副大統領が暫定大統領となり、憲法417条の規定に基づいて期限を1年間とする非常事態宣言を発出し、国軍が政権を掌握しています。

ミャンマーと日本とは縁が深く、ミャンマー出身で日本に暮らしている方、心配している方もたくさんいらっしゃいます。一緒に学びましょう。

## 第二部 報告と語り合い

食料支援の取り組みの報告を聞き、語り合しましょう。

(聞くだけ参加も OK) お気軽にどうぞ。

**会場** 生協生活文化会館 (名古屋市千種区稲舟通1-39、地下鉄本山駅4番出口より南へ徒歩2分) 定員30名

豊橋生協会館 (豊橋市牟呂町松崎) 定員20名

オンライン 定員なし

※参加費 無料 食料支援の食料品・現金の寄付を募ります。

(名古屋難民支援室 平日10時～18時)

電話 070-5444-1725 FAX 052-308-5073

e-mail info@door-to-asylum.jp <https://www.door-to-asylum.jp/>

右のQRコードからもお申し込みいただけます。

お申し込みの際 お伝えいただくこと

名前・所属（あれば）・連絡先

参加方法 会場参加（名古屋・豊橋）

オンライン（語り合い参加・聞くだけ参加）

オンライン参加の方はメールアドレス



## <緊急食料支援 第5弾 ご案内>

学習会当日、各会場で、食料品と寄付を集めます。

●集める食品にはお守りいただきたい条件があります。

- ・包装や外装が破損していないもの
- ・未開封のもの
- ・生鮮食品以外
- ・賞味期限が明記されており、かつ 賞味期限が4月1日以降のもの



●以下のような食品が特に喜ばれます。

- ・お米（白米）・パスタ・カップ麺・乾麺
- ・調味料（食用油、醤油、砂糖等）
- ・缶詰（肉、魚、野菜、くだもの等）
- ・レトルト食品（カレー・スープ・惣菜等）
- ・コーヒー、お茶などの嗜好品



## <今まで私たちが学んだこと>

日本では、出入国管理をする行政機関が難民認定をしており、難民認定率は1%程度にとどまっています。NPO 法人名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民や難民申請者が、法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援しており、年間約100名の新規相談と、1,000件の継続相談があります。

10月30日の学び語り合う会では、アフガニスタンについて学びました。

## 難民緊急食料支援 第4弾報告（10月30日・11月25日～12月3日、12月7日、11日）

たくさんのあたたかいお気持ちをお寄せいただき、ありがとうございました。おかげさまで32箱もの支援物資をお届けすることができました。

お届け先からは、驚きと喜びのメッセージをいただきました。



<寄せられた支援物資等>

米 46袋、367kg

食品 約178品目、288点

現金の寄付 61,635円（28名）

食品等の協力者 62名

12月11日食料品仕分け参加者 26名